



院長

林 研氏



事業概要

会社名 / 医療法人 社団研英会 林眼科病院
 所在地 / 福岡市博多区博多駅前4丁目23番35号
 事業内容 / 眼科
 設立 / 1981年7月31日(個人開業1961年7月)
 資本金 / 97,133千円

従業員数 / 142名
 年商 / 1678百万円(2008年3月期)
 TEL / 092 431 1680
 FAX / 092 414 1372
 URL / <http://www.hayashi.or.jp>

私の「経営理念」

私の経営理念は、安全で質の高い医療サービスを提供するとともに、眼科医療の発展に貢献することです。

当院は外来治療から手術まで総合的に行う眼科専門の病院です。そして、治療の第一歩は、正しく精密な検査から始まります。

そのため、それぞれの患者様に“今必要な検査治療を今できること”の大切さを考え、検査機器の充実に重点を置き、高度医療に欠かせない機器をいち早く導入しています。

一方で、どんなに多忙な時も患者様の立場に立ってお話(症状)を最後まで聞き、その対処法についてき

め細かく説明するとともに、職員には患者様に対し優しい気持ちを持って接するよう常々言い聞かせています。

また、「医療事故を絶対に防ぐのだ」という強い信念を持ち、医療安全活動の必要性、重要性を全部署及び全職員に周知徹底し、院内共通の課題として積極的な取り組みを行っています。

さらに、当病院では、眼科医療の発展に寄与するために、治療や手術成績を研究し、その結果を海外・日本の学会で発表しています。

今後も、一人でも多くの患者様の眼に光を取り戻すべく、医療技術の向上に磨きをかけていく所存です。

当院の「セールスポイント」

患者様にとって、目の治療や手術には恐怖や不安はつきものです。当院では、このような不安を払拭し視力回復という患者様のニーズに応えることができる高度な技術を有しています。

私どもは、白内障の手術を中心に一日15例程度、年間3500例の手術を行っていますが、眼底3次元画像解析装置をはじめとする高度先進医療検査機器を数多く導入しているため、網膜剥離等の眼底疾患、緑内障、角膜移植など手術及び治療・管理が的確に行えます。

また、患者様のニーズに応える手

術治療を目標に設備の充実を図ってきました。私どもの手術室は、室内陽圧、限外空気ろ過フィルターなどの大病院の総合手術室に匹敵する設備を完備しており、全身麻酔を含めほとんどの眼科手術に対応しています。

さらに、お客様に安心して治療や手術を受けて頂く為に、内科や眼鏡部を設けており、初診 検査 手術後の経過観察まで、一連の処置の全てに細やかな心遣いをしています。

今後は、本年10月に開始したレーシック(レーザーによる視力矯正・視力回復手術)の他、眼球後部の医療にも積極的に取り組んでまいります。

推薦者コメント

福岡銀行 博多駅前支店 梶原支店長コメント

最先端の技術、機器の導入もさることながら、診療の根底には徹底したインフォームドコンセントや患者様との良好な人間関係の構築を第一義としたポリシーを貫いてあります。地域で絶大な信頼を得ている所以であり、私共も業務運営の参考とさせて頂いています。

株式会社 荒木板金工場



代表取締役社長

荒木 健司氏



事業概要

会社名 / 株式会社 荒木板金工場
所在地 / 熊本県菊池市旭志川辺1126 7
熊本北工場団地内
事業内容 / 空調ダクト工事
設立 / 1963年12月
資本金 / 2,000万円

従業員数 / 74名
年商 / 10億円
TEL / 0968 37 3117
FAX / 0968 37 3373
URL / <http://www1.odn.ne.jp/araki-bankin/>

私の「経営理念」

私の経営理念は、信用を第一として、安全作業に徹し、顧客に喜ばれる良い仕事、良い製品を提供し、事業の発展を通して社会の繁栄に貢献することです。

ダクトの製造・取り付けを事業とする当社においての「信用」とは、製品の確かな品質と工期の遵守です。そのため、長年培ってきたノウハウに加え、製造工程の機械化を図り、より精度の高い製品をいち早く納めることが出来る体制を整えています。

一方で、企業の技術力を支える基礎は社員であるという考えの下、業務に係る資格取得費等の支援を行っ

ている他、入社時の安全研修や夏場の熱中症対策など、従業員の安全教育についても積極的に行っています。

そうした中、アルミ缶やプルタブを車椅子に交換する運動やアイドリリングストップによるCO₂削減、海外の研修生の受け入れなど、社会奉仕活動にも取り組んでいます。

また、雇用創出を通じた地域社会への貢献のために、地元出身の人材の積極的な採用も行っています。

今後も、常に一貫した経営理念と最新技術の導入を持って、企業の繁栄と快適な生活に寄与することを念頭に置き、事業に邁進していく所存です。

当社の「セールスポイント」

当社では、大型ビルや工場、マンション等の各種空調工事や高度な技術を要するダクトの設計から製作取り付けまで、一貫した工事を行っています。

当社では、プラズマ切断機などの最新設備と高いスキルを持った社員を有し、かつ、自社にてダクトの製造、施工を一括して行える体制を構築しているため、低予算でも高品質な製品を製造でき、お客様のニーズに沿った高品質な製品の提供と工期の短縮とを同時に実現しています。

また、物件によってダクトを格納する場所の形状や排気口までの経路

が複雑な場合もありますが、当社の熟練した技術と豊富なノウハウにより、難しい形状や多様なニーズに対応することができます。

さらに、バイオテクノロジー等のクリーンルームの空調など、高度な技術を要するダクト工事等に対応できる技術も有しています。

こうした技術面に加え、熊本県の他、福岡県と鹿児島県にも工場を有し、九州一円どの地域でも対応することもセールスポイントの一つです。

今後は、自社の技術や設備を生かす事が出来る分野への進出も視野に入れた事業を展開してまいります。

推薦者コメント

熊本ファミリー銀行中央支店
野村支店長コメント

当店周での個人ご創業以来、永年当行をご愛顧いただいております。取引先との信用を第一とされる経営姿勢は一貫しておられ、逆に勉強させて頂いております。今後とも経営に際し、ご協力をさせていただき共存共栄の関係で参りたいと思っております。お取引先です。

TOP

に聞く! hearing.02

株式会社 マイクロマテリアルズジャパン



代表取締役

森山 博昭氏



事業概要

会社名 / 株式会社 マイクロマテリアルズジャパン
所在地 / 長崎県諫早市津久葉町5-121
事業内容 / 各種ウェーハ等シリコン材料の加工、販売およびリサイクル業。各種半導体電子部品・機械に関する国内及び、海外輸出入販売。人工大理石製品の販売。
設立 / 2004年1月

資本金 / 1,000万円
従業員数 / 20名
年商 / 14億円
TEL / 0957 46 8811
FAX / 0957 46 8812
URL / <http://micro-materials.jp/>

私の「経営理念」

当社は、3つの経営理念を掲げています。それは「お客様から信頼され愛される会社を目指す」、「社員の個性を大切にし夢のある会社にする」、「創造性のある技術を生かし豊かな社会づくりに貢献する」の3つです。私は49歳の時に会社を設立し、お客様と社員を大事にし、かつ自分たちの技術を社会貢献に役立てる会社になりたいと考えました。

これらの経営理念を基に、「地球環境保全を推進する」、「リサイクルを促進しクリーンエネルギーの普及に努める」の2つを企業方針に定め、経営理念の具現化に取り組んで

います。

具体的に当社が行っているのは、半導体の製造時に発生する廃棄シリコンウェーハやシリコンインゴットなどを再利用する事業です。

シリコンアイランドと呼ばれる九州では、半導体メーカーから大量の廃棄物が排出されています。破材シリコンウェーハなどは、これまで廃棄処理されていましたが、当社はこれらを原料として受け入れ、太陽光発電パネル等の材料として再生処理し、クリーンエネルギーの普及に取り組んでいます。

今後も社員と共に技術向上に努め、地球環境保全に資する会社として、豊かな社会づくりに貢献していきます。

当社の「セールスポイント」

当社が行っている半導体用シリコンウェーハのリサイクルシステムは、リサイクルの促進とともにクリーンエネルギーの普及を促す、地球環境保全を推進する独自のビジネスモデルとなっています。

近年、利用促進が活発化している太陽光発電において、シリコン純度の高い半導体用のリサイクルウェーハは発電効率が高く、安価な材料として中国やアジアを中心に需要は非常に旺盛です。また、日本の半導体メーカーからも、廃棄物を有効活用する方法として当社のビジネスモデルは高い評価をいただいています。

それを支えているのは、受け入れた材料1点ごとに、編成、検査、薬品洗浄、ラッピング、プラスト、鏡面研磨といった処理や、再利用の状況を履歴情報として管理するトレーサビリティシステムです。高品質で安定した製品供給を求めるユーザーと、廃棄ウェーハを排出するメーカー双方に、履歴情報を開示することによって安心と信頼を提供しています。

当社はシリコンウェーハのほかに、石英材料やプラスチックもリサイクル材料として取り扱っています。これからも、独自技術の研鑽に努め、地球環境保全に取り組んで参ります。

推薦者コメント

親和銀行諫早中核団地支店 山下支店長コメント

森山社長は仕入・販売先を足繁く訪問することにより、現場の生の情報をタイムリーに収集し、市況・トレーサビリティ等経営にすぐに反映されています。

リサイクル・クリーンエネルギーは時代の要請でもあり、今後益々の発展を確信しています。